

窓口サービス向上に向けた実証実験を実施します

本市では、市民の皆様の申請書記入の負担軽減や窓口の混雑緩和、市民サービスの向上を目指して、申請書記入をサポートするシステムと、リアルタイムに翻訳を表示するシステムの実証実験を行います。

1 実証実験で使用するシステムの概要

(1) 申請書記入サポートシステム（日本電気株式会社）

住民票の写しを取得する際などに記入する申請書について、マイナンバーカード等を読み込ませることで、氏名や生年月日等があらかじめ印刷された申請書を作成できるシステムです。

申請書記入に係る市民の手間を削減できるほか、職員による申請書確認作業のスピードアップ効果も期待できます。



(2) 翻訳ディスプレイ（TOPPAN株式会社 VoiceBiz UC Display）

音声による会話をリアルタイムに翻訳し、文字として表示できるディスプレイです。外国語と日本語での多言語でのコミュニケーションなど、ユニバーサルコミュニケーションの効果が期待できます。また、翻訳は透明なボードに表示されるので、相手の顔と翻訳を同時に見ながら対話できることも特長です。



2 期間及び場所

令和7年2月3日（月）から同年2月28日（金）までの間、各区役所区民課において実施します。

※申請書記入サポートシステムは、各区役所に1台ずつ配置します。

翻訳ディスプレイは、1台を各区役所へ順番に配置します。

※メンテナンス等により、期間中であってもご利用いただけない場合があります。

問合せ先

システムに関すること

D X 推進課 直通電話 042-769-8212

窓口運用に関すること

区政推進課 直通電話 042-704-8911